



校歌を唱うフレッシュそのものの会員 ▲

幌東高同窓会報

昭和58年8月

第11号

札幌東高等学校同窓会
発行

ごあいさつ

北海道札幌東高等学校
同窓会会長

松尾 静江

第十一号会報発刊に当たりご挨拶
を申し上げます。

今年は夏らしい陽射しの日が少
なく、農作物の出来秋が案じられ
る昨今でございます。加えて経済不
況と変動の激しい世情でございま
すが、同窓生各位におかれまして
は如何お過ごしでいらっしゃいま
すか。ご機嫌の程お伺い申し上げ

ます。

明治四十年に「克己自強」を建

学の精神として開校されました母

校も、現在は卒業生の总数二万五
千名を超えた。従いまして本会も長い歴史的過程の中で、幾多
の組織上の変遷もありましたが、昭和六十二年には創立八十周年を
迎えることになります。そのためで
たく大きな節目には、本会としても母校関係者との連携を取りなが
ら協力体制づくりをしなければな
らないものと思われます。然し、一方でプログラムの巻頭のご挨拶
でも申し上げております通り、總会当番も高女の担当は今年を以つ
て終了し、名実共に東高の方々の
手に会務執行の責任も替つて頂きたいと考えております。昭和四十
七年総会に於いて、私が芦野顧問
の後継者として浅学非才をも省み
ず、会長に就任しましたのが四十
六才の時で、正に懼れを識らぬ者
と今更に汗顔の思いでおりますが、お陰様で四期十二年の任期も一年
を残すのみで何んとか無事に終ら
せて頂けますことは、偏々に同窓
生各位の本会に対するご寛容なお心の賜と深く感謝申し上げており
ます。有難うございました。これから的一年を私は大切に本
会の為に何をなすべきかを自らに
想い、謝恩の念も込め初心に還つ
て努力して参る所存でございます。

先ずこの機会に本会の存在そのも

の或いは運営等を新しい視点で見
直してみたい。又それを求める時
の流れも急がれてきている思いも頻りにしております。開かれた同
窓会」とはかねてより希いながら、思う程には成し得なかつた悔いが
あります。昨年ご委嘱申し上げた各期の幹事の方々との話合いを
にお聞きしながら即答出来るもの、精力的にさせて頂き、その中で多
くの会員が本会に対し日頃考えて
おられる事、要望される事を詳細頂く等々の整理を速やかにし、次
には各期の代表を互選して常任幹
事選出の貴重な人脈構成にもつな
がりたいと考えます。来年は役員改
選の年次もあり大きな変革を踏
まえて、出来るだけ多くの会員に納
得賛成の得られる人選がされる土
台をしっかりと作りたいと考え、總事選出の貴重な人脈構成にもつな
がりたいと考えます。来年は役員改
選の年次もあり大きな変革を踏
まえて、出来るだけ多くの会員に納
得賛成の得られる人選がされる土
台をしっかりと作りたいと考え、總

ご挨拶

名誉会長
札幌東高等学校校長

仲川翠



本日茲に、第74回札幌東高等学校、
旧市立高等女学校、同窓会総会が盛
大に開催されますことを、同窓生の
皆様方のご健勝と併せて、お

慶び申し上げます。

本校も今年で創立以来76年の年輪
を数えることになりますが、この偉
大な時の流れの中に、二万五千有余
名に及ぶ卒業生を、世に送り出し、
各界で目ざましい活躍をされてい
る多くの同窓生を数えるとき、誠に
大きな誇りを感じるものであります。

我が東高は、創立以来の校訓「克

己自強」の精神の下に、同窓生の皆

様の築かれた輝かしい伝統を受け継

ぎ、そして堅持し続けております。

同窓会には、校舎改築の際の環境
整備、学校祭、ピッチングマシン購
入等、物心両面に亘り、多大のご支
援を受けましたこと、誠に有難く、

心から感謝申し上げる次第であります。生徒諸君は、この心あたたまる
先輩各位の精神的、物質的贈り物を
大切にしながら、教科学習、ホーム
ルーム、学友会、クラブ活動等に、
若き溢るエネルギーを爆発させてお
学校生活の日々を有意義に送つてお
ります。

教育の荒廃が叫ばれ、非行や、学
校内外の暴力事件等が新聞紙上を賑
わす今日、我々教職員、生徒は謙虚
にこのことを受けとめ、「教育とは何
か」という一大命題と取り組むこと
を責務と考えます。生徒諸君が、先
輩が残された足跡をしっかりと認識
し、学校生活を通じて、広義の「自己」
というものを見つめる力を身につけて
いくってほしいものと教職員一同
同念願し、一丸となつてその目的達
成に努力している次第でございます。

す。

7月14日～17日

★第34回
東高祭

「燃える東魂」をテーマに
盛大に開催される。



同窓会では恒例により、7
月16・17日の両日同窓会室に
おいて、高女時代からのアル
バム展示及び男女共学の始ま
り等のパネル掲示を行い、又
例年好評であるジュースの無
料配布により同窓会のPRに
努めた。

今年は、女子高生が高女時
代の制服に興味を示し、また、
父兄の時代のアルバムを熱心
に探している学生などこの同
窓会室も年々在校生に理解さ
れてきている。

東高13期

助 貞 英 一

(新和技建株専務取締役)



同窓会の当番を無事に終え、その任を全う出来て、正直なところほっとしている。56年の3月より始動し、名簿作成から実行委員会の組織化、同窓会役員との打合せ等々、めまぐるしく移り變り、あつという間に一年が過ぎ去つてしまつた感があつた。この間、13期の仲間を中心と色々と活動したが、高女25期、東高32期の方々にも多大な御協力を頂いたおかげと心から感謝致しております。

当番を経験して気が付いたことを思つてみると、總会の主体性については、あくまでも同窓会の執行部にあります。總会担当役員が責任者であるということを明確に認識すべきであります。

そして当番期の役割は、会長方針に則り運営部門を担当する訳ですが、あくまでも担当役員を中心に行われなければならぬと思います。「当番期に全ておまかせします。私達は助言するだけです。」と言つたやり方は、いたずらにトラブルを生じさせるだけです。何故なら、当番期は殆んどが初の経験であるのに対し、役員の方々は何回も経験しておられるはずだからです。もつと強い指導力を發揮され、ムリ・ムダ・ムラのない執行を自信を持って行って欲しいと願うものであります。笑止！

にはどもあれ、同窓会を通じての人的交流は、他に替え難い良さがあります。特に私の場合、ゴルフ同好会を通じての交流は、他の多くのコンペとは一味違つた安らぎを感じ、今までまるで知遇を得なかつた方々と親密になれる場として楽しみにしている一つです。

最後に、今後益々、同窓会が発展し、会員の皆さんのが活躍されるごとに祈念致します。



'83第1回

S 58.7.11(土)午後

GOLF 同好会

同窓会ゴルフトーナメント大会

滝野コース



同好会活動のうちで、懇親のゴルフコンペは特に人気が高く、多数の申込があり、卒業期にこだわらず青空とグリーンの真只中で存分にプレーする愉しさはこたえられない。同窓会からも助成があり、賞品も盛り沢山。本年第1回の優勝カップを手にしたのは、東

二期の吉田君。バスケットは準優勝の東三期近藤君で、ドラコン賞までさらいました。以下成績は次の通りです。

(グラスハンドネットト)

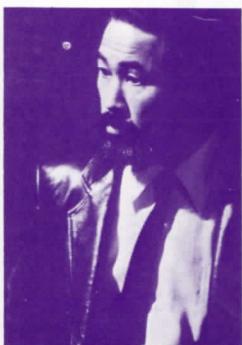
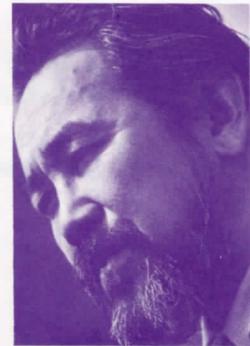
優勝	吉田(東2)	90	9	17
準優勝	近藤(東3)	86	87	73
1位	山中(東3)	92	92	77
2位	長谷川(東8)	98	93	77
3位	助貞(東13)	92	92	77
4位	大黒(東8)	93	92	77
5位	沢田(東7)	98	93	77
ラッキー賞	今野谷(東7)	92	92	77
ブギー賞	阿部(東7)	93	92	77
バスケット賞	近藤(東3)	92	92	77
ドーラコン賞	近藤(東3)	92	92	77
ニヤビン賞	吉川(東2)	92	92	77
吉川(東2)	山中(東3)	92	92	77

● 本年第2回コンペ：10月開催予定！早目にご案内しますので、奮って参加されるよう希望します！

▼ 実行委員長……山中(東3期)
☎ 011(561)5021

東高六期
(俳優
世田谷区在住)

近藤　日出男



第十一号、東高同窓会報より皆様今日は！毎年の会報を想い出込んで嬉しく懐しく拝読させてもらつます。今日まで盛大に同窓会、同期会を運営されてこられた諸先生、諸先輩各氏の並々ならぬ御努力に常々より感謝致しております。

年月過ぎ、人との出会い、触れ合ひの度ごとに……人それぞれの温かさ……豊かさを感じ、創作（表現）していく上での感性をようやく……多少なりとも……解してきたつもりの東高第六期生の室田です。

宣しく。

同、新しい趣向による盛況を目指し努力した結果、当日は総勢百六十七人（先生六人、高女六十三人、東高八十八人）と、これまで最高の出席者に達しました。

この中には、例年お見えになる長田

正之助、山本好美、新美正之、今井徳年の四先生に加え、今回はとくに神柵之助、松尾雄一両先生が遠く札幌から参加され、本部の大黒正芳副幹事長とともになつかしい故郷の香りと郷愁を運んでいただき、会を一層盛り上げて下さいました。

懇親会では三つの校歌を合唱するなど、老若それぞれ母校の歴史をかみしめ、青春に思いをはせ、楽しい時間を

第五回東京支部総会・懇親会は昨年9月19日、文京区の椿山荘にて開催しました。

当支部結成以来四年以上過ぎ、

総会出席者は減少気味、ややマンネリ化の傾向がみられはじめしたことから、

我々当番期（高女18期・東高8期）一

回、新しい趣向による盛況を目指し努力した結果、当日は総勢百六十七人（先生六人、高女六十三人、東高八十八人）と、これまで最高の出席者に達しました。

（東高8期 網干 亮記）

東京支部だより

過ごしました。

なお、チャリティ抽選会によつて得たほんのわずかな金額ではありました

が、母校に送ることが出来たこと。さ

らに総会の席上、多くの会員から支部

活動を活発化すべきとの声が上り、こ

れを機会にもう一度会員すべてが支部

のあり方を追求していくことが確認さ

れることは、総会の盛況に勝るかえが

たい収穫であつたと当番期一同自負し

ております。

（東高8期 網干 亮記）

第六回東京支部総会ごあんない

日時 昭和58年9月15日（祝日）

午後1時30分～3時30分

会場 芝パークホテル（港区）

会費 6,000円

●幹事代表 東高9・10期

名生尚志（東9期）

東高のようないくさと

本間英吉

ふるさとは遠きにありて思ふもの、たしかこれは犀星の詩にあつたと思ふが、すべてが急テンポで様變りするいまの世の中で、思う姿のままのふるさとをもつてゐる人は極めて少ないとと思う。今日では久しぶりでふるさとを訪ねて



恩師懷旧

の生を夢みながら生きるが、その“どき”がわが身の中にある限り、その生きた“ところ”は、姿かたちがどのように變つても、いつまでもわが想いのなかに生き続けて行く。母校はその“ところ”なのである。

人は多感なときを、様々なる意匠の生を夢みながら生きるが、その“どき”がわが身の中にある限り、その生きた“ところ”は、姿かたちがどのように變つても、いつまでもわが想いのなかに生き続けて行く。母校はその“ところ”なのである。

ここにいた詰襟とセーラーのわが身を想起したりされていると思う。人は多感なときを、様々なる意匠の生を夢みながら生きるが、その“どき”がわが身の中にある限り、その生きた“ところ”は、姿かたちがどのように變つても、いつまでもわが想いのなかに生き続けて行く。母校はその“ところ”なのである。

だつたのではとか、菊水校舎のそばに描いたり、新しい東高のグランドのなかにグリーンの中庭を置き、そ

だつたのではとか、菊水校舎のそばに描いたり、新しい東高のグランドのなかにグリーンの中庭を置き、そ

た。その間六校に勤め現任校は七校目ですが、私の仕事は常に東高で得たものがベースになつておきました。

授業ではもとより、生徒会や部活動の指導で本当に生徒を可愛がつた先生がた、ときにやんちやないたずらをしたがちやんとけじめを知つていた生徒達。そんな東高がいまだに忘れられずにやつてきました。

この春、新設の札幌真栄高校にきましたが、制服は詰襟とセーラーになりました。

東高には四十年三月まで十二年間勤めました。今回与えられた題が「恩師懷旧」ということでしたので、「勤めました」と書きましたが、十二年間を最年少と若年未熟教師の立場で過ごした私には、正直言つてそう書くことに少々の気恥ずかしさを覚えます。そんな立場でしたから、東高への私の思いは、そこで学んだ皆さんの思いと余り違つていないのでないかと思います。

東高時代になつてからの同窓生にしても、思う姿のままの母校はすでにない。しかし皆さんは、パークホテルの前庭に立つて六期の皆さんと写真をとつた玄関はこの辺

温泉「大黒屋旅館」で開かれました。当支部は、昭和十五年に産声を上げて以来、四十余年、地方の支部としては最も歴史が古く、しかも活発な活動をしております。此の度、昭和四十三年から支部会長の重責を果されました、矢野滋子さんが、ご主人の仕事の関係から、札幌・函館と二重生活を送られることになりましたが、無理にお願いして今年一年間は会長に留任していただきました。総会は、恩師大森先生をお招きし、初めての参加者四名を加え、総数二十五名、更に札幌から高木さんも駆けつけられ、和気アライアイの一時を過ごしました。有志による二セコ・スキーフ旅行の報告などがあり、また、昨年創刊号が出された「支部会報」は本年も引き続き出すことが認めされました。



(札幌真栄高等学校校長)



●事務局(支部幹事室)

中澤迪也(東高8期)

電話 0138(55)6055

住所 〒041 函館市東山町24-14

函館支部だより



追憶

柳田十九男

私のような者の拙文で貴重な紙面を汚すことは誠に恐縮でなりません。

私にとりまして札幌市立高等女学校から札幌東高等学校までの二十二年間はすべてが懐しい思い出ばかりです。

私は、伊坂、小野、長瀬、小山田、江口といずれも道内屈指の名校長に仕え、併せて良き先生方と生徒さんに恵まれ、私の生涯を支える数々の御鞭撻と御支援を頂きました。

伊坂先生の頃、恰も太平洋戦争が勃発し、以来食糧増産、勤労動員、援農の連続でした。幌向の援農先で召集令状を受け、九州の独立山砲隊に編入され五十日で終戦となりましたが、その応召中、沢田先生と生徒さん達が毎日下校の途中、札幌護国神社に参拝、私の武運長久と無事帰還を祈念して下さっていましたことを、つい最近耳にし、日々感謝感激、この御恩は終生忘れてはならない、と堅く心に誓つております。

小野先生の時、菊水東町に東高

幌東高校は全道高等学校の名簿の

校舎の第一期工事が終り一年生だけが先発隊として新校舎に移り、やがて第二期工事も終つて全校生徒が揃いました。間もなく長瀬先生を迎えたが、なにぶんにも校舎敷地が市のゴミ捨て場の跡地だけに、グランドは全く使いものにならず、市の失業対策事業の一環として約一年がかりで排水工事を施し火山灰で覆土し整地したものです。あいにく、この年は例年なく毎日強い風が吹き荒れ、そのため砂塵が猛々と舞い上り、校舎内は勿論、学校周辺の民家にも構わぬ侵入し「食事も攝れないと、寝床も敷けない、一体何をやっているのだ」等々、けんけんごうごうたる非難苦情が殺到しました。そんな或る日、先生は猛烈な砂塵の吹き荒れる強風の中、ただ一人グランドの中央に立られ、暫し瞑目合掌し、その鎮まるのを神に念じておられましたが、その後姿は、今もなお私の瞼に強く焼きついております。

先生のお住まいは、

064 札幌市中央区
南17条西10丁目です。

トップに名前が記載されている学校、光は東より、名実共に全道一の名に恥じないようにしよう」と言われ、いつも格調高い訓話と明快適切な指示を頂きました。「上農は草を見ずして草をとり、中農は草を見て草をとり、下農は草を見て草をとらず。」の御教示は私の座右の銘としております。

江口先生は、悠揚迫らずまさに大人の風格で簡明直截なその一言一句が強く私達の胸に應えるものがあります。「若者よ大きな夢をもて」「眞の人間形成はお互の魂の触れ合いの中から生れる」と魂の触れ合いの大切さを強調されました。

終りに、生徒の皆さんからクラブ会同期会を催されるたびに、「先生、みんなが待っています。是非一度顔を見せて下さい」と御丁重な御案内を頂きますが、私は生来、酒は飲めず、芸もなく宴会は大の苦手で、その上、心不全と、ぜん息性気管支炎で医者の世話になつておりますので、大変申し訳ないと思いつながら、いつも出席を辞退させて頂いております。失礼の段、何卒お許し下さい。この紙面をかりに念じておられましたが、その後深く深くお詫び申し上げます。

事務局短信

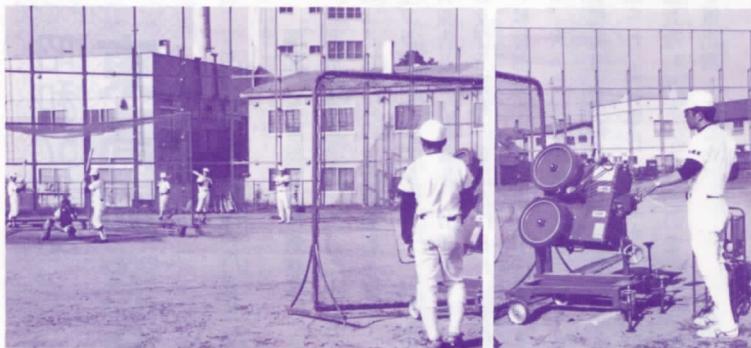


同窓会文庫と中庭の
観葉植物



● 母校に同窓会文庫と観葉植物を
贈呈する。母校落成を祝して、さきの同窓会
総会で行われたチャリティオークションの益金（57年度東京支部総会の
益金も含まれます）が「学校側のは
からいで図書購入に充てられ、同窓会
文庫として、真新しい書架に納め
られ、盛んに利用されています。
ほかに、新校舎の中庭、煉瓦のス
テージの上に、数鉢の観葉植物が置
かれ、美しい緑が陽に映えてみんな
の目を楽しませております。
こうした総会出席者の善意が、よ
りふさわしい形で母校に実りました
ことを、ここでお知らせします。

●母校にピッティングマシンが寄贈されました。速球・変化球が投げられるので、一人の打ち込み量が増え、打撃全体のレベルアップにつながって来てはいるが、マシンによるボールの消耗がはげしく、補修が大変です。』と監督の星川先生がおっしゃる、グランドのすみで、女子マネージャーが一生けん命ボールの補修を行っていました。



藤原先生

皆田先生

安室先生



●事務局担当の先生が変わりました
長く同窓会事務局の担当として、お世話を下さった柳原先生に代り、今春から東高卒の若い藤原英彦先生(11期)と女性の安室広美先生(22期)が、新しく同窓会事務局担当になりました。お二人は、保健体育と家庭科の担任をしておられます。皆田先生をはじめ、新進気鋭の両先生を迎えて、事務局の充実は大変に心強く、母校のご配慮に感謝致します。

●同期会に助成金
同期会開催に当つては、同窓会の助成金制度をご利用ください。より多数への呼びかけで、親睦の絆を深めていただくためのものです。☆はじめての同期会の場合は: 3万円 ☆次回以降の同期会の場合は: 1万円 ▶申込みはハガキで事務局へ。

期名・代表者名(フリガナつき)と電話番号・振込銀行と口座番号、開催日時と会場を記入の上お申込みください。銀行振込に限ります。
※郵便為替・現金扱いは致しません。

同窓会事務局から

などへの助成にも活用されています。
ひろく会員の皆様のご協力をお願いいたします。

●送金振込先: 拓銀／苗穂支店
普通預金 No. 275020

札幌東高校同窓会
☎ 011(331)63332

●同好会にふるつて参加を

ゴルフ、麻雀、テニスほか同好の会員による懇親の集まりに参加しませんか。今年は選挙があつたり、ゴルフの同好会が開かれただけでしたが、企画やご希望もあわせてお寄せください。会からの助成もあります。お問合せは、総務担当／山中(東3期) ☎ 011(56)5021まで。

●同期会・クラス会に会報を

同窓会の広報紙として、会活動や母校の動向、恩師の追憶などを掲載し、年一回発行の会報を、同期会などの集まりに年会費納入の会員各位に配布されるよう希望します。お申込みは広報担当／岩城(東11期) 011(24)0797へ。

●恩師のご住所変更も事務局へ
総会のご案内ほか、恩師へのご連絡が転勤その他で判らなくなることがあります。名簿整備が難かしいため、会員の皆様のご協力をお願いします。

ハガキで事務局にご一報ください。

●年会費納入にご協力を
年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や、学校祭

札幌東高同窓会事務局
003 札幌市白石区菊水9条3丁目
(札幌東高校内)

皆田・藤原・安室先生
☎ 011(331)63332

昭和57年度 東高同窓会 会務報告

昭和57年度の主な会務を報告致します。

一、昭和57年度総会及び懇親会

昭和57年度総会は、八月二十七日、京王プラザホテルで開催され、56年度会務報告及び決算報告、57年度事業計画案及び予算案の審議が行われ、それぞれ執行部提出の原案通り可決されました。次いで、渡辺貢一副幹事長と谷本光穂監査役の転出に伴う役員の補充が

諸られ、副幹事長に東高十期の高橋正、監査役に高女二十四期の秦泰子の両氏を選出致しました。

二、常任幹事会及び幹事会

57年度の常任幹事会は、一月二十六日と六月八日に開催し、56年度総会において議決された案件の処置や、幹事会・総会に提出する議案等について協議しました。また幹事会は、七月六日

に開催し、56年度の会務の施行状況と決算、57年度の事業計画案と予算案を審議・議決しました。

五、母校関係諸事業

前年度の総会の議決により、母校への助成としてピッキングマシン購入に必要な予算の支出を行ったほか、学友会誌「東」への助成や、学校祭における同窓会コーナーの開設など、母校

三、同窓会入会式

第33回卒業生の同窓会入会式は、三月九日、校長及び関係教員の列席を得て執り行いました。新会員歓迎の挨拶の後、新幹事への委嘱状の授与、同窓会役員の紹介、記念品贈呈及び新入会員代表の挨拶等を行い、式を閉じました。

四、支部・同期会・同好会への助成

東京及び函館支部への助成のほか、同期会への助成（第一回目三万、二回目以降一万）に努め、会員相互の親睦を図りました。また同好会活動に対しては、本年度は十月五日開催のゴルフ同好会に助成を行いました。

三、各期幹事の把握と委嘱

四、会報の発行と会員名簿の整備

58年度の主な事業計画は次の通りです。会員諸氏の一層のご協力をお願い致します。

**昭和58年度
事業計画**

昭和58年度の事業は、ほぼ57年度の事業内容を踏襲し、より一層、会員相互の親睦を図り、母校の発展にかかる事業の推進に努める予定です。会員諸氏の一層のご協力をお願い致します。

58年度の主な事業計画は次の通りです。

一、総会・幹事会・常任幹事会及び同窓会入会式の適正な運営

二、支部・同期会・同好会活動に対する効果的な助成

の発展にかかる事業についての適正な業務の執行に努めました。

六、その他

年一回発行の同窓会会報の誌面の充実に努め、年会費納入者への配布を通して、同窓会活動への会員の理解を図ることに努めました。

■特別会計積立金〈信託預入〉

取入の部

前年度繰越額	2,320,268円	支 出 の 部	0円
緑 入 金	300,000円	一般会計から繰入	
収益配当金	145,761円	貸付信託配当金 111,888円 金銭信託配当金 33,873円	
合 計	2,766,029円		
		次年度繰越額	2,766,029円

昭和57年度決算書並びに昭和58年度予算案

昭和57年度決算書 前年度繰越額 1,220,813円
 収入の部 2,407,913円
 支出の部 2,253,342円

次年度繰越額 1,375,384円

昭和58年度予算案 前年度繰越額 1,375,384円
 収入の部 1,424,616円
 支出の部 2,800,000円

差引残高 0円

単位/円

科 目		摘 要	決 算 額
収 入 の 部	前年度繰越金		1,220,813
	新入会員会費	446名×1,500円	669,000
	年 会 費	994名×500円	497,000
	雑 収 入	総会剩余金・預金利息	1,241,913
	計		3,628,726
支 出 の 部	事務手当	事務手当及び交通費	180,000
	事務用品費	用紙代その他	43,470
	印刷費		0
	通信費	切手代ほか	48,080
	旅費交通費	支部出張費	55,400
	慶弔費	餞別・献花ほか	62,000
	会議費	幹事会等会場費	207,494
	総会関係費	総会準備金	276,200
	会報発行費	会報発行	215,600
	学校祭関係費	学校祭関係	130,200
	同期会等助成費	支部及び同期会助成	225,200
	新会員関係費	記念品代	209,400
	体育文化助成金	在校生助成	300,000
部	特別会計積立金	特別会計へ繰入れ	300,000
	雑 費		298
	予 備 費		0
	計		2,253,342

科 目		摘 要	予 算 額
収 入 の 部	前年度繰越金		1,375,384
	新入会員会費	445名×1,500円	667,500
	年 会 費	1,000名×500円	500,000
	雑 収 入	預金利息ほか	257,116
	計		2,800,000
支 出 の 部	事務手当	事務手当及び交通費	200,000
	事務用品費	用紙代その他	50,000
	印刷費		40,000
	通信費	郵便料ほか	100,000
	旅費交通費	支部出張費	150,000
	慶弔費	餞別ほか	100,000
	会議費	幹事会等会場費	250,000
	総会関係費	総会準備金	300,000
	会報発行費	会報発行	240,000
	学校祭関係費	学校祭参加	200,000
	同期会等助成費	支部及び同期会助成	300,000
	新会員関係費	記念品贈呈	240,000
	体育文化助成金	在校生助成	150,000
部	特別会計積立金	特別会計へ繰入れ	300,000
	雑 費		50,000
	予 備 費		130,000
計			2,800,000

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話 811-1919)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく。
1. 名誉会長 1名 現母校校長
1. 名誉顧問 若干名 旧母校校長全員
- 第5条 本会に次の役員をおく。
1. 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
1. 相 談 役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
1. 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 副 会 長 5名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 幹 事 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 副幹事長 7名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 常任幹事 若干名 正会員より幹事会で選出した者
1. 幹 事 紅葉時の各クラスより男女1名づつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は幹事の互選により各期4名以上を選出する。
- 第6条 役員の任期は次のとおりとする。
1. 会長・副会長・幹事長・副幹事長 3年
1. 常任幹事及び監査役 3年 但し再選を妨げない。
1. 幹事 3年 但し再選を妨げない。
- 第7条 役員の任務は次のとおりとする。
1. 会 長 会務を総括し本会を代表する。
1. 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときはその任務を代行する。
1. 幹 事 長 常任幹事の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会を主宰する。
1. 副幹事長 幹事長を補佐し幹事長事故あるときはその任務を代行する。
1. 常任幹事 総務・広報・会計・母校担当の任務を分掌し会の企画運営に当たる。
1. 幹 事 会員間の連絡にあたり常任幹事を補佐する。
1. 監 査 役 会計業務を監査し会計の正常な運営を計る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
1. 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開く。但し常任幹事会が必要と認めたときは臨時総会を開くことができる。
1. 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で常任幹事会の諮問事項を協議し会の運営を協議、議決する。
1. 常任幹事会 本会の執行機関で会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議し会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
1. 総会の開催
1. 会誌の発行
1. 母校発展のための事業
1. その他常任幹事会で必要と認めた事業

第4章 会 計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費及び寄附金をもってこれにあてる。
1. 会費は入会と同時に1,000円、年会費として1ヵ年500円を納入する。
1. 寄附金の運用は常任幹事会で協議する。
- 第11条 会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。
- 第12条 会計年度終了時に定期監査を受け、その結果を総会で全員に公示する。又正会員の要求があり監査役が必要と認めたときは臨時監査を受けなければならない。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は幹事まで連絡しなければならない。
- 第14条 会則の変更は総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。
- 第15条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。
一部改正(顧問、相談役制定・幹事・常任幹事・及び監査役の任期)昭和49年8月23日より施行する。
一部改正(年会費) 昭和50年8月25日より施行する。
一部改正(副会長・副幹事長の定数) 副会長5名・副幹事長7名 昭和51年8月25日より施行する。
一部改正(入会費の金額) 1,000円 昭和52年7月17日より施行する。
一部改正(常任幹事の任務・会計年度) 総務・広報・会計・母校担当、7月1日より翌年6月30日まで 昭和56年8月22日より施行。

札幌東高校同窓会 役員名簿

役 職	氏 名	卒業期	住 所	電 話	勤 務 先	電 話
顧 問	芦野トシ	職業 9				
相談役	石田アイ	高女 2				
会 長	松尾静江	高女22				
副会長 母	小野寺チズ	高女16				
〃 総	伊坂郁子	高女23				
〃 広	大川智恵子	高女24				
〃 総	吉中新太郎	東高 1				
〃 計	吉原 宏	東高 6				
幹事長	塩川 信	東高 2				
副幹事長	中村瞳三四	高女21				
〃 計	柴田陽子	高女23				
〃 総	山中一夫	東高 3				
〃 計	大黒正芳	東高 8				
〃 母	高橋 正	東高10				
〃 広	岩城弘侑	東高11				
〃 母・総	小山国夫	東高12				
監査役	山崎久美	高女 6				
〃 秦泰子		高女24				
常任幹事	鹿内キヨ	高女 3				
〃 広	長尾貞子	高女 4				
〃 母	菅原三枝	高女15				
〃 母	佐野セツ	高女18				
〃 総	坂東信子	高女22				
〃 母	横田佐和子	高女26				
〃 総	佐藤一郎	東高 1				
〃 総	青川昌利	東高 2				
〃 計	高木美子	東高 3				
〃 母	高木綏子	東高 4				
〃 総	久末祐輔	東高 5				
〃 母	鈴木敬夫	東高 7				
〃 母	遠藤安倫	東高 8				
〃 広	陣内幸則	東高 9				
〃 総	後藤広治	東高11				
〃 母	佐々木信義	東高12				
〃 広	助貞英一	東高13				
〃 計	林 豊	東高14				

(総：総務担当 広：広報担当 計：会計担当 母：母校担当)



同窓生にと
つて、現在の
東高の様子を
知る機会に仲
々恵まれませ
ん。そこで今
年の東高だよ
りから抜すい
て、母校の模様を紹介します。

◎見学旅行

今年度は二班に分かれて、九月二十
三、二十四日から、九月二十八、二十
九日までの五泊六日の日程で実施する
予定です。

京都を宿泊地として、京都・奈良の
代表的な文化財を見学するとともに、

H.R.選択コース、自主見学にそれぞれ
一日を当て、生徒の自主的活動を生か
すのが特色。

「東高だより」から

◎学友会会长に吉田 誠君

六月十八日、学友会会长候補者の立
会演説会が行われ、決戦投票の結果、
二年一組の吉田誠君が次期学友会長に
選ばれました。

明朗で誠実、相手の意見を理解しよ
うとする人柄で、学友会の今後の発展
が期待されます。

◎屋外バレーコート新設

体育館の北側に、今回、バレーコー
トが新設されました。必修クラブは勿
論、サブコートとして、多目的に活用
されています。

◎ピッチングマシンの寄贈

同窓会、体育文化後援会より、野球
部に、六十万円のマシンが一台、寄贈
されました。このため、速球を打つ力
もでき、一人の打込み量も急に増え、
打球全体のレベルアップにつながりま
した。

◎高文連校内放送コンテスト全道大会 アナウンス部門 優秀賞 中山祐子

今年度卒業生の進学状況
◆国公立大学進学者数 内(内浪人數)

同志社大学	8(7)	1(0)	9名
立命館大学	10(8)		
その他の私立大学	56(44)	9(7)	10名
合計	187(142)	45(18)	232名

◆進路のしおりから

今年度卒業生の進学状況

◆国公立大学進学者数 内(内浪人數)

北海道大学	34(15)	13(3)	47名
北海道教育大学	25(14)	25(5)	50名
室蘭工業大学	19(7)	19名	
小樽商科大学	8(6)	3(2)	11名
帯広畜産大学	3(0)	1(0)	4名
北見工業大学	5(0)	5名	
弘前大学	4(1)	4名	
その他国公立大学	14(11)	5(3)	
合計	112(54)	19名	
北海道学園大学	68(49)	6(3)	74名
札幌大学	6(4)	8名	
北海道工業大学	3(1)	2(1)	4名
北海道薬科大学	1(0)	5(1)	6名
藤女子大学	5(2)	13(2)	13名
北星学園大学	2(2)	5(2)	7名
獨協大学	3(2)	3名	
青山学院大学	1(1)	1名	
明治大学	1(1)	1名	
慶應大学	3(3)	3名	
芝浦工業大学	2(2)	1(0)	
中央専修大学	3(0)	3名	
明治大学	6(6)	10名	
稻田大学	6名	6名	

◆私立大学進学者数

北大医療技術短大	20(0)	20名	
藤女子短大	59(7)	59名	
道武藏女子短大	44(2)	44名	
天使女子短大	11(1)	11名	
札幌大谷短大	10(1)	10名	
北星学園女子短大	11(3)	11名	
静修短大	3(0)	3名	
道自動車短大	2(0)	2名	
防衛大学	3(1)	3名	
高等看護学校	2(0)	2名	
税務大学	3(0)	3名	
その他	1(1)	1名	
合計	192(19)	13(0)	
北海道学園大学	9(2)	9名	
札幌大学	21(6)	21名	
北海道工業大学	3(1)	3名	
北海道薬科大学	2(0)	2名	
藤女子大学	3(1)	3名	
北星学園大学	13(0)	13名	
獨協大学	22(21)	22名	
青山学院大学	1(1)	1名	
明治大学	1(1)	1名	
慶應大学	1(1)	1名	
芝浦工業大学	1(1)	1名	
中央専修大学	1(1)	1名	
明治大学	1(1)	1名	
稻田大学	1(1)	1名	

あとがき

今年度の会報をお届けします。
この会報にご寄稿下さい
ました方々にあらためてお礼
申しあげます。

●会報ご希望の方は、東11期
岩城広報担当 ☎ 011-241-0797
へお申し出ください。

